

内容(予は要予約)	とき	対象
親子健康手帳交付	8日(火) 9:45集合 25日(金) 13:30集合	妊婦
予 パパママ教室(1回目) ※定員10組	8日(火) 10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
予 パパママ教室(2回目) ※定員平日7組、土日10組	2日(水) 13:15受付~15:00終了 20日(日) 9:15受付~11:00終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫 ※3日前までに予約がない場合は中止
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
のびのび計測日*1	北児童館 1日(火) 保健センター 17日(木)	未就園児 ※1医師の診察はありません。 持 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はパスタ 主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予 離乳食教室	4日(金) 10:00~11:15	
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦

※子どもの予防接種は「不要不急」ではありません。早めの接種をお願いします。

予 ロタウイルス	1価ワクチン:出生6~24週 5価ワクチン:出生6~32週
予 B型肝炎	生後1歳未満
予 ヒブ、小児用肺炎球菌	生後2~60月に至るまで
予 4種混合、不活化単独ポリオ	生後3~90月未満
予 BCG	生後1歳未満
予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独	第1期:生後12~24月未満 第2期:小学校入学前の1年間
予 水痘	生後12~36月未満
予 日本脳炎	1期:生後6~90月未満、2期:9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
予 二種混合	11~13歳未満
予 子宮頸がんワクチン	小学6年生~高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
予 高齢者インフルエンザ	65歳以上、60~64歳は条件あり
予 高齢者肺炎球菌ワクチン	65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳
予 新型コロナワクチン 集団接種	[12歳以上、3・4・5回目] 土 9:00~11:00、14:00~16:00受付 場 保健センター 日 9:00~11:00受付 ※必ずweb、LINEまたはコールセンターで予約をしてください。 ☎0561-56-0120(9:00~16:45 祝日除く)

2期は9歳・10歳の誕生日の月末に通知します

予 子宮検診	9日(水)、28日(月)	20歳以上の西暦偶数年生まれの女性 (昨年度受診していない西暦奇数年生まれの人も可)
予 個別子宮検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください	
予 子宮乳腺検診	21日(月)	
予 乳腺検診	10日(木)、30日(水)	40歳以上の西暦偶数年生まれの女性 (昨年度受診していない西暦奇数年生まれの人も可)
予 個別乳腺検診	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください	
予 39歳以下健診	15日(火)	16~39歳の人
予 歯周病検診	1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳

納期限(11月30日)		
税目	納期	問合せ先
国民健康保険税	第5期	収納課 ☎56-0610
後期高齢者医療保険料	第5期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日に引落しますので残高を確認してください。  
納付は便利な口座振替を利用してください。  
スマホアプリ決済も利用できます。  
※市税については、パソコン、スマートフォンからクレジットカード納付もできます。

### 日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所  
☎0561-73-7555  
診療日時 日曜・祝日 9:00~16:30(昼休憩1時間あり)  
診療科目 内科・小児科  
所在地 日進市蟹甲町中島22

### 急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター  
☎0561-82-1133  
24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

### 愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。  
まず、電話で相談してください。  
☎0561-62-3311(代表)

### まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。  
詳細は市HPへ。

## ドクターからあなたへ 小学生から始められる舌下免疫療法

花粉症で通院しているけど、いつか治るの?と聞かれることがあります。花粉症といえば、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状を抑えるための抗アレルギー剤などによる「対症療法」が一般的でした。症状を抑えることはできても、治癒するというものではありません。

それでは、花粉症を治すことはできるのでしょうか?

花粉症を治す治療の一つに、舌下免疫療法があります。舌下免疫療法とは「アレルギー症状を引き起こす原因物質(=アレルギー)を少量から身体に慣れさせて、アレルギー反応が起こらないようにする治療」のことです。舌下免疫療法は、2014年10月にスギ花粉に対する治療が、2015年11月に

ガニに対する治療が保険適用となった治療方法です。保険適用になってから、もう8年経過し、ポピュラーな治療方法となりつつあります。舌下免疫療法は毎日、薬の服用が必要ですが、1日の治療にかかる手間はそれほどありません。1日1回、舌の下に数分薬を置き、その後とけた薬液を飲みます。小児の適応もあります。自然寛解の少ないアレルギー性鼻炎が小児で発症すると有病期間が長いため、早期からの治療介入が望まれています。長期間にわたる治療が必要であり、服用後にまれに強いアレルギー症状が発現する恐れもあるため、ぜひ医師に相談の上、定期的受診による治療をお勧めします。

問 問合わせ先 時と場合  
申 申込方法(記載がないものは申込不要) 他 対象内容  
ス 費用(記載がないものは無料)  
予 予約が必要なものは、原則開庁時間に限り、予約が必要なもの  
持 持ち物